

TAKEDA

2017年5月期

決算説明資料

(2016年6月1日～2017年5月31日)



タケダ機械株式会社

会社沿革



- 1966年(昭和41) 3月 石川県能美郡寺井町(現 石川県能美市吉光町)にて個人創業。
- 1971年(昭和46) 6月 鉄筋加工機・鉄骨加工機の製造販売を目的に、資本金5,000千円にて株式会社竹田機械製作所(現商号 タケダ機械株式会社)を設立。
- 1973年(昭和48) 5月 販売拠点拡充のため九州、大阪、東京の各営業所を開設。
- 1976年(昭和51) 10月 販売拠点拡充のため仙台営業所を開設。
- 1979年(昭和54) 9月 販売拠点拡充のため名古屋営業所を開設。
- 1980年(昭和55) 1月 販売拠点拡充のため竹田機械販売株式会社(現 タケダ機械株式会社)広島営業所を開設。
- 1985年(昭和60) 4月 販売拠点拡充のため竹田機械販売株式会社(現 タケダ機械株式会社)北関東営業所を開設。
- 1986年(昭和61) 8月 本社総合事務所を建設し、事務及び業務合理化のためコンピューターを設置。
- 1990年(平成2) 6月 竹田機械販売株式会社を吸収合併、同時に商号をタケダ機械株式会社に変更。
- 11月 東京営業所社屋新築。
- 1992年(平成4) 7月 日本証券業協会に店頭登録。
- 1994年(平成6) 4月 現在地に本社及び工場を移転。
- 2000年(平成12) 5月 子会社株式会社タケダテクニカルを吸収合併。
- 2004年(平成16) 12月 株式会社ジャスタック証券取引所に株式を上場。
- 2006年(平成18) 10月 欠損金填補のため資本準備金及び資本金を減少。
- 2008年(平成20) 12月 株式会社アマダカッティング(現 株式会社アマダマシンツール)と業務提携(国内OEM)を行う。
- 2009年(平成21) 5月 タケダ精機株式会社を子会社化。
- 2011年(平成23) 3月 株式会社アマダマシンツールと業務提携(海外OEM)を行う。

会社概要

- 創業 : 1966年(昭和41年)3月
- 設立 : 1971年(昭和46年)6月
- 資本金 : 18億7,408万円
- 代表者 : 代表取締役社長 竹田雄一
- 従業員数 : 193名(正社員173名、準社員20名)【連結】
- 敷地面積 : 44, 149m²
- 所在地 : 石川県能美市粟生町西132番地
- 生產品目 : 形鋼加工機、丸鋸切断機、金型、その他(受託事業)
- 取引銀行 : 北國銀行、福井銀行、商工中金、三菱東京UFJ銀行
- 営業所 : 仙台、北関東、東京、名古屋、北陸、大阪、広島、九州
- 納入先 : 鉄骨・鋼材加工会社、製缶・板金加工会社、その他金属加工会社
- 代理店 : 機械工具関連商社、熔材関連商社、鋼材関連商社

株主構成

●株主の状況(2017年5月末現在)

	株主総数		構成比率	発行済株式総数		構成比率
個人	877	名	91.74%	6,920,280	株	67.85%
金融機関	4	名	0.42%	893,000	株	8.75%
法人	46	名	4.81%	2,036,800	株	19.97%
証券会社	18	名	1.88%	255,955	株	2.51%
その他	11	名	1.15%	93,965	株	0.92%
合計	956	名	100.0%	10,200,000	株	100.0%

会社所在地



事業内容

当社グループの事業内容は、鉄骨・鋼材・製缶板金などの加工を中心とする形鋼加工機、多彩な鋼種の高速度高精度切断を中心とする丸鋸切断機の製造販売及びこれに付帯する一切の業務を行っています。また、ファブレス企業(自動車生産設備機械メーカー)及び金属加工機械メーカーからの受託生産(OEM)も行っています。

形鋼加工機

鉄骨・鋼材の加工並びに製缶板金加工の業界を主力市場とし、建築物や橋梁などの鋼構造物に使用する形鋼材の穴あけ・切断・その他の加工機械を製品としています。

丸鋸切断機

パイプを含む多彩な鋼種の切断業界を主力市場とし、自動車部品・建機部品・ショーケースなどで使用する無垢材・パイプ材・軽量形鋼を高速高精度で切断する加工機械を製品としています。

金型

形鋼加工機での搭載及びプレスに単品搭載して使用するユニット式金型で、加工内容に応じて多種多様な加工に対応出来る金型を豊富に揃えています。

その他(受託事業)

ファブレス企業(自動車部品生産設備メーカー)や工作機械メーカーからの完成機械を受託生産しています。

部 品

自動化に対応する搬入搬出装置や消耗部品・修理部品の補給並びに管理を行っており、部品に関しては「当日出荷」を基本とする在庫管理体制を整えています。

サービス

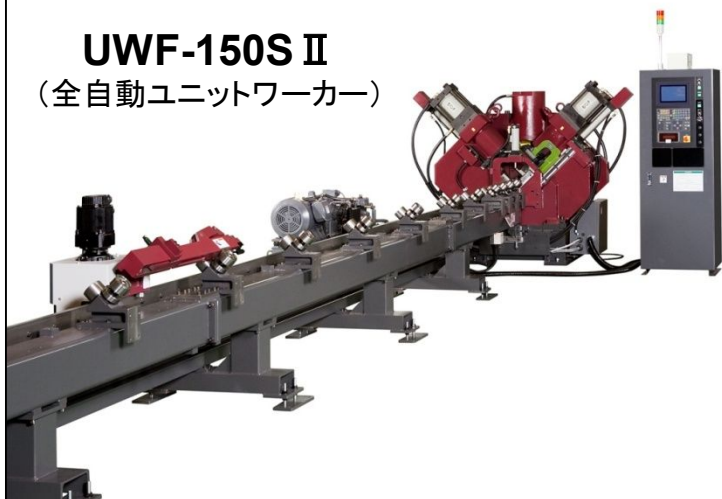
製品の納入・据付・試運転、有償修理、アフターサービスなどを主力業務とし、ユーザー様との信頼関係を構築し、「顧客満足度の向上」を図る体制で対応しています。

形鋼加工機

●主な納入先

- ・ファブrikーター（建築鉄骨加工業）
- ・製缶板金加工業
- ・ハウスメーカー
- ・橋梁
- ・造船
- ・胴縁加工業
- ・その他形鋼加工業

UWF-150S II
(全自動ユニットワーカー)



UWD-70 II S
(ユニットワーカー)



CBF-3015 II
(ドリル丸鋸複合機)



ABM-1530G
(多機能型オートポラー)



丸鋸切断機

● 主な納入先

・自動車関連企業 ・部品加工業 ・鍛造業 ・パイプ切断業 ・鋼材切断業 ・その他切断業

CHL-2515A II
(形鋼用丸鋸切断機)



CS-75A II
(無垢材用丸鋸切断機)



CM-1010KKS
(角度切り丸鋸切断機)



金型

● 主な納入先

- ・プレス／板金加工業
- ・製缶／鉄骨加工業
- ・アルミ型材加工業
- ・輸送機関連製造業
- ・各種金属関連製造業

■ パンチ金型(穴あけシリーズ)



■ 切断シリーズ



■ 切欠シリーズ1



■ 切欠シリーズ2

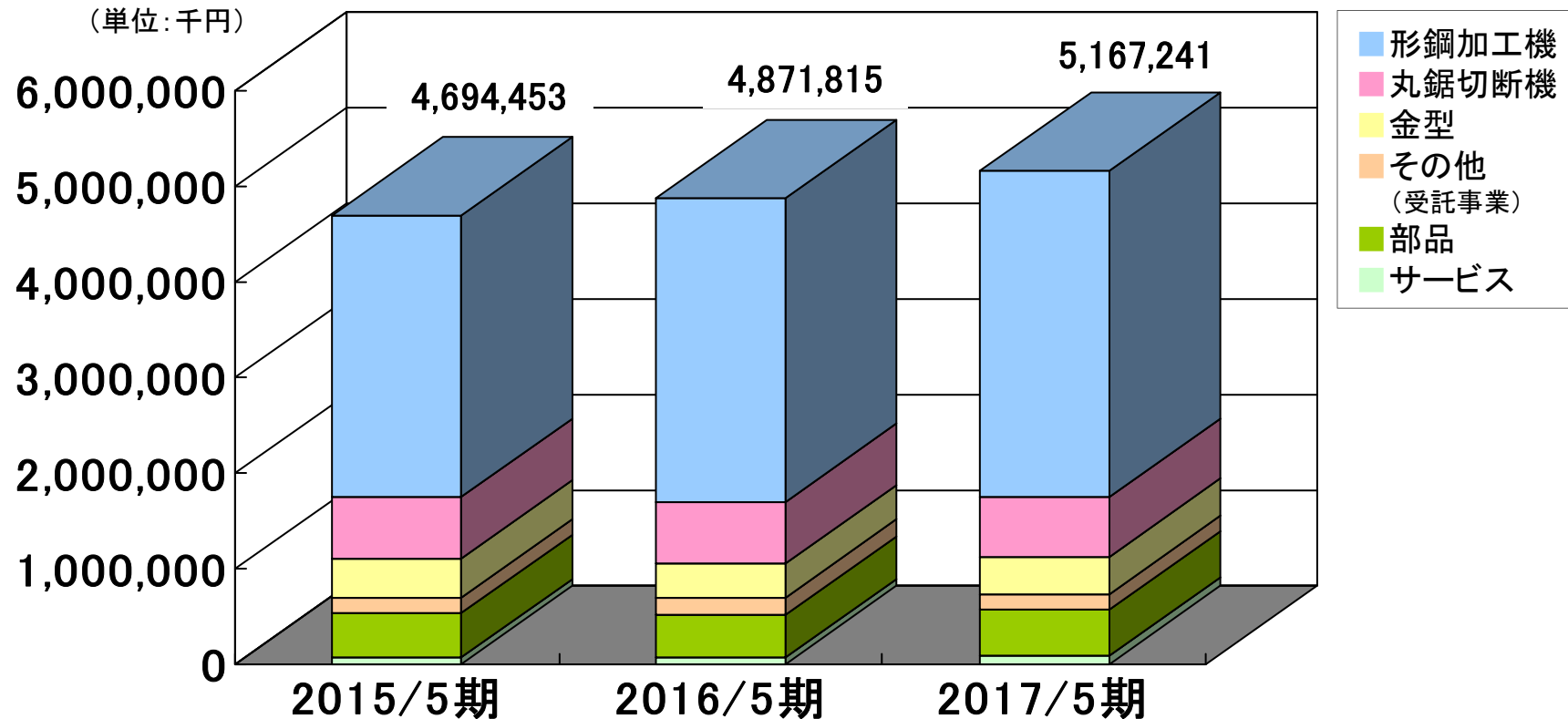


■ その他シリーズ



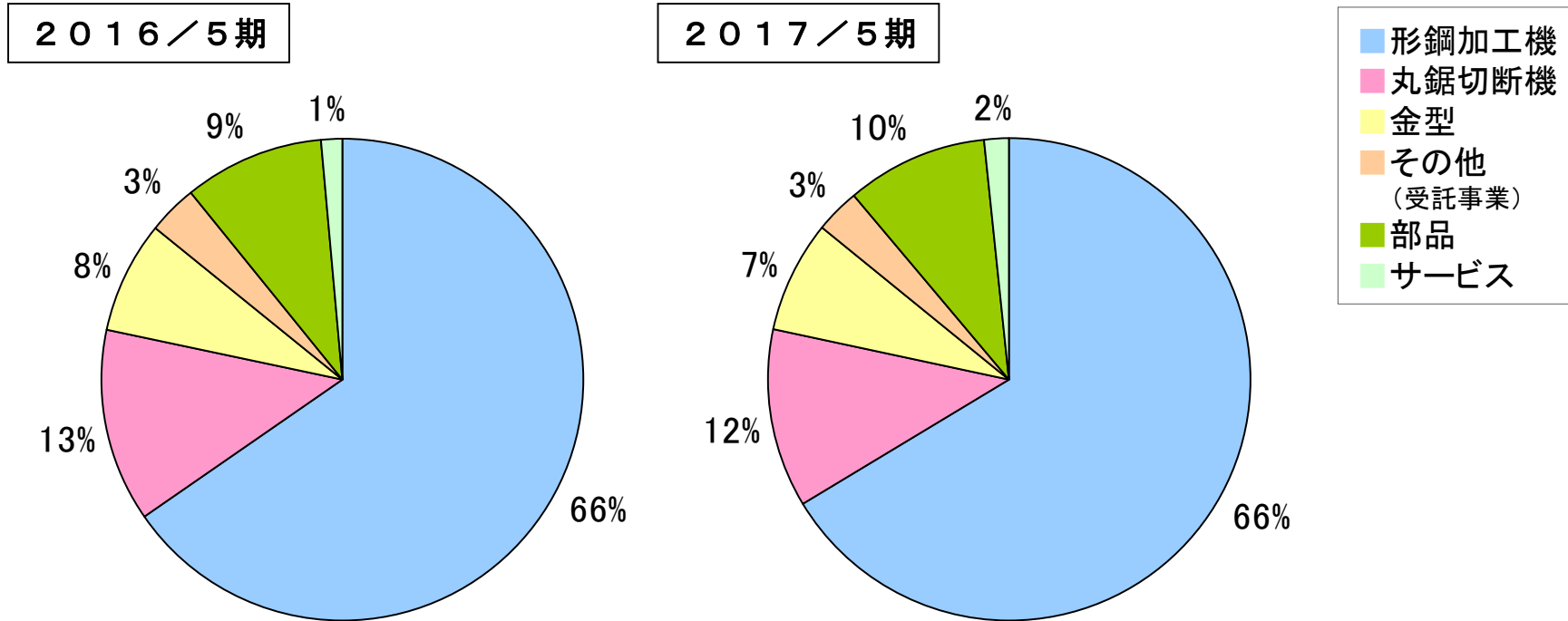
2017年5月期 業績状況

売上高【連結】



当連結会計年度における我が国経済は、国内の個人消費や輸出の一部に持ち直しの兆しが見られ、製造業の生産活動は活発化しつつある一方、英国のEU離脱、米国新政権の不確実性、アジア新興国の経済減速が顕在化するなど、予断を許さない状況の中、推移していきました。このような状況の下、当社グループは「お客様視点のものづくり」を基本原点に、新製品開発の促進、提案営業の展開、保守サービスの充実、不可価値の改善等に積極的に取り組んでまいりました。この結果、当連結会計年度の売上高は5,167百万円となり、前期比6.1%の増収となりました。

売上構成比の比較【連結】



●部門別売上高

(単位:千円)

	形鋼加工機	丸鋸切断機	金型	その他	部品	サービス	合計
2016/5期	3,175,803	635,359	368,686	169,695	449,584	72,685	4,871,815
2017/5期	3,425,014	619,521	387,609	162,420	492,074	80,601	5,167,241

貸借対照表【連結】

(単位:千円)

	2016/5期	2017/5期	前期比増減額
流動資産	3,145,622	3,585,305	439,683
固定資産	2,604,288	2,665,825	61,536
資産合計	5,749,911	6,251,131	501,219
流動負債	2,260,124	2,145,258	▲114,865
固定負債	1,114,631	1,310,701	196,069
負債合計	3,374,756	3,455,960	81,203
資本金	1,874,083	1,874,083	—
剰余金等	501,070	921,086	420,015
純資産合計	2,375,154	2,795,170	420,015
負債・純資産合計	5,749,911	6,251,131	501,219

損益計算書【連結】

(単位:千円)

	2016/5期	2017/5期	前期比増減額
売上高	4,871,815	5,167,241	295,425
売上原価	3,402,631	3,630,670	228,039
販売費・一般管理費	889,202	917,535	28,333
営業利益	579,982	619,035	39,052
営業外損益	2,353	5,045	2,692
経常利益	582,335	624,080	41,745
特別損益	88,616	28,128	▲60,487
法人税等その他	276,713	215,745	▲60,968
当期純利益	394,238	436,464	42,226

キャッシュ・フロー計算書【連結】

(単位:千円)

	2016/5期	2017/5期	前期比増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	608,080	324,139	▲283,940
投資活動による キャッシュ・フロー	▲471,420	▲157,769	313,651
財務活動による キャッシュ・フロー	▲270,202	▲67,432	202,770
現金及び現金同等物に 係る換算差額	—	2,979	2,979
現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少)	▲133,542	101,917	235,459
現金及び現金同等物の 期末残高	236,550	338,468	101,917

2018年5月期 業績予想

2018／5期通期予想1

●主要カテゴリー

形鋼加工機

形鋼加工機における日本国内の設備投資マインドは、慎重な姿勢になりつつも、東京オリンピック、都市圏の鋼構造物プロジェクト、国土強靱化基本計画による国内インフラ補強などの内需によって、継続的な需要を見込んでいます。

海外においては、地政学的リスクによる為替変動が懸念されますが、特に戦略重点エリアである東南アジア地区の旺盛なインフラ投資需要を取り込み、前年度の売上高を上回るものと予測しております。

丸鋸切断機

丸鋸切断機については、株式会社アマダマシンツールとの提携を強化し、自動車関連企業向けの輸出を伸ばすことを見込み、形鋼加工機と同様に前年度の売上高を上回るものと予測しております。

2018／5期通期予想2【連結】



●売上高の実績及び予想

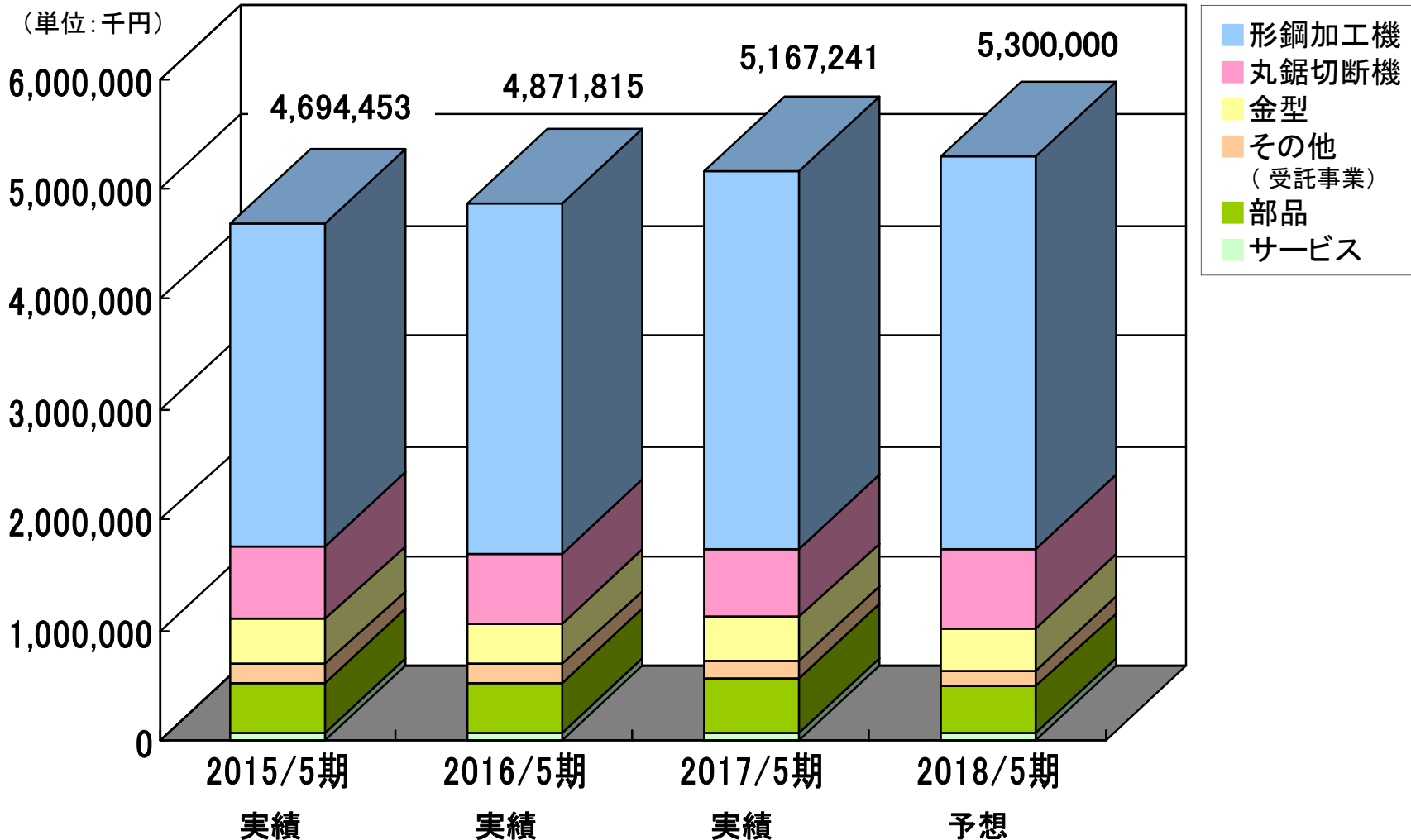
(単位:千円)

	2017／5期 (実績)	2018／5期 (予想)	構成比率	前期比 増減率
形鋼加工機	3,425,014	3,563,150	67.2%	4.0%
丸鋸切断機	619,521	725,500	13.7%	17.1%
金 型	387,609	366,000	6.9%	▲5.6%
その他(受託事業)	162,420	153,350	2.9%	▲5.6%
部 品	492,074	420,000	7.9%	▲14.6%
サービス	80,601	72,000	1.4%	▲10.7%
合 計	5,167,241	5,300,000	100.0%	2.6%

2018 / 5期通期予想3【連結】



●売上高構成比の増減予想



2018／5期通期予想4【連結】



●損益計算書の実績及び予想

(単位:千円)

	2017／5期 (実績)	2018／5期 (予想)	前期比 増減率
売上高	5,167,241	5,300,000	2.6%
売上原価	3,630,670	3,747,129	3.2%
販売費・一般管理費	917,535	911,008	▲0.7%
営業利益	619,035	641,863	3.7%
営業外損益	5,045	8,137	61.3%
経常利益	624,080	650,000	4.2%
特別損益	28,128	0	—
法人税等その他	215,745	218,713	1.4%
当期純利益	436,464	431,287	▲1.2%

I R 情報に関するお問合せ先

I R 窓口担当者 : 取締役管理部長 鈴木 修平
連絡先 : TEL. (0761)58-8231
FAX. (0761)58-6863
E-mail kanri@takeda-mc.co.jp
URL <http://www.takeda-mc.co.jp>

☆ご注意

本資料内の予想数値及び計画数値、事業戦略等につきましては、発表日時点において把握していました情報から、当社が合理的と判断したものを掲載しています。

従いまして、経済環境、事業環境の変化にともない、実際の業績等と異なる場合がありますことを、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。